2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月10日

上場会社名	株式会社フジシールインターナショナル	上場取引所　東
コード番号	7864　URL https://www.fujiseal.com	
代表者	(役職名) 代表執行役社長 COO	(氏名) 城川 雅行
問合せ先責任者	(役職名) ＩＲ担当マネージャー	(氏名) 植田 將二朗　TEL 06-6350-1080
四半期報告書提出予定日	2021年11月12日	配当支払開始予定日　2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有

四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	88,339	7.6	7,996	18.3	8,223	33.4	5,587	62.7
2021年3月期第2四半期	82,085	△0.3	6,757	△9.8	6,162	△19.9	3,435	△38.8

(注)包括利益　2022年3月期第2四半期　8,221百万円 (197.7%)　2021年3月期第2四半期　2,761百万円 (△29.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	102.01	―
2021年3月期第2四半期	61.82	―

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	164,027	109,464	66.7	1,999.27
2021年3月期	159,367	103,080	64.7	1,869.58

(参考)自己資本　2022年3月期第2四半期　109,464百万円　2021年3月期　103,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	―	16.00	―	16.00	32.00
2022年3月期	―	17.00			
2022年3月期(予想)			―	18.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	3.9	13,600	9.4	13,600	12.4	8,900	6.3	161.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)　:　無

新規　－ 社　(社名)　　　　　　　　　　　　　　　　、除外　－社　(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　　　: 有

② ①以外の会計方針の変更　　　　　　　　　　　: 無

③ 会計上の見積りの変更　　　　　　　　　　　　: 無

④ 修正再表示　　　　　　　　　　　　　　　　　: 無

（注）詳細は、添付資料10ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	60,161,956株	2021年3月期	60,161,956株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	5,409,964株	2021年3月期	5,026,153株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	54,777,557株	2021年3月期2Q	55,573,163株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年11月12日に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。

当日使用する決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第２四半期連結累計期間についても百万円単位で記載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動） …… 10
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（会計方針の変更） …… 10
（会計上の見積りの変更） …… 10
（追加情報） …… 10
（四半期連結損益計算書関係） …… 11
（セグメント情報等） …… 12
（重要な後発事象） …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における経営成績は、売上高883億39百万円（前年同期比7.6％増）、営業利益79億96百万円（前年同期比18.3％増）、経常利益82億23百万円（前年同期比33.4％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億87百万円（前年同期比62.7％増）となりました。

（単位：百万円）

	2021年３月期 第２四半期連結累計期間	2022年３月期 第２四半期連結累計期間	増減率
売上高	82,085	88,339	7.6%
営業利益	6,757	7,996	18.3%
経常利益	6,162	8,223	33.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,435	5,587	62.7%
米ドル平均為替レート（円）	108.23	107.82	△0.4%
ユーロ平均為替レート（円）	119.31	129.89	8.9%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、新中期経営計画の実行に向け、欧州におけるマネジメント体制を変更し、従来報告セグメントとして開示しておりました「ＰＡＧＯ」を「欧州」に統合しております。

また、品目別区分について、日本セグメントの「医薬等受託包装」を「その他」へ、米州セグメントの「その他ラベル」を「その他」へ、それぞれ従来の区分から変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分及び品目別区分に組替えた数値で比較分析しております。

（単位：百万円）

	2021年３月期 第２四半期連結累計期間	2022年３月期 第２四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	24,026	24,831	3.4%	－
タックラベル	5,563	5,177	△6.9%	－
ソフトパウチ	8,235	8,791	6.7%	－
機械	2,628	2,759	5.0%	－
その他	7,042	6,893	△2.1%	－
売上高合計	47,495	48,453	2.0%	－
営業利益	4,696	5,351	13.9%	－
米州				
シュリンクラベル	14,232	16,538	16.2%	16.6%
タックラベル	419	570	36.0%	36.5%
ソフトパウチ	501	252	△49.6%	△49.4%
機械	1,314	2,743	108.8%	109.6%
その他	748	660	△11.9%	△11.5%
売上高合計	17,216	20,765	20.6%	21.1%
営業利益	1,907	2,113	10.8%	11.2%
欧州				
シュリンクラベル	6,113	6,958	13.8%	4.6%
タックラベル	3,533	3,893	10.2%	1.2%
ソフトパウチ	140	88	△37.0%	△42.1%
機械	3,181	3,856	21.2%	11.3%
売上高合計	12,969	14,797	14.1%	4.8%
営業利益	△52	296	－	－

	2021年３月期 第２四半期連結累計期間	2022年３月期 第２四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
アセアン				
シュリンクラベル	3,700	3,669	△0.8%	△0.5%
タックラベル	92	98	6.2%	6.6%
ソフトパウチ	4,230	4,033	△4.7%	△4.3%
機械	281	189	△32.6%	△32.4%
その他	102	115	12.4%	12.8%
売上高合計	8,407	8,105	△3.6%	△3.2%
営業利益	491	291	△40.8%	△40.6%

（日本）

シュリンクラベルは売上高248億31百万円（前年同期比3.4%増）、タックラベルは売上高51億77百万円（前年同期比6.9%減）、ソフトパウチは売上高87億91百万円（前年同期比6.7%増）、機械は売上高27億59百万円（前年同期比5.0%増）、その他は売上高68億93百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

その結果、日本全体の売上高は484億53百万円（前年同期比2.0%増）、損益面は営業利益53億51百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

（米州）

シュリンクラベルは売上高165億38百万円（前年同期比16.2%増、現地通貨ベース16.6%増）、タックラベルは売上高５億70百万円（前年同期比36.0%増、現地通貨ベース36.5%増）、ソフトパウチは売上高２億52百万円（前年同期比49.6%減、現地通貨ベース49.4%減）、機械は売上高27億43百万円（前年同期比108.8%増、現地通貨ベース109.6%増）、その他は売上高６億60百万円（前年同期比11.9%減、現地通貨ベース11.5%減）となりました。

その結果、米州全体の売上高は207億65百万円（前年同期比20.6%増、現地通貨ベース21.1%増）、損益面は営業利益21億13百万円（前年同期比10.8%増、現地通貨ベース11.2%増）となりました。

（欧州）

シュリンクラベルは売上高69億58百万円（前年同期比13.8%増、現地通貨ベース4.6%増）、タックラベルは売上高38億93百万円（前年同期比10.2%増、現地通貨ベース1.2%増）、ソフトパウチは売上高88百万円（前年同期比37.0%減、現地通貨ベース42.1%減）、機械は売上高38億56百万円（前年同期比21.2%増、現地通貨ベース11.3%増）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は147億97百万円（前年同期比14.1%増、現地通貨ベース4.8%増）、損益面は営業利益２億96百万円（前年同期は営業損失52百万円）となりました。

（アセアン）

シュリンクラベルは売上高36億69百万円（前年同期比0.8%減、現地通貨ベース0.5%減）、タックラベルは売上高98百万円（前年同期比6.2%増、現地通貨ベース6.6%増）、ソフトパウチは売上高40億33百万円（前年同期比4.7%減、現地通貨ベース4.3%減）、機械は売上高１億89百万円（前年同期比32.6%減、現地通貨ベース32.4%減）、その他は売上高１億15百万円（前年同期比12.4%増、現地通貨ベース12.8%増）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は81億５百万円（前年同期比3.6%減、現地通貨ベース3.2%減）、損益面は営業利益２億91百万円（前年同期比40.8%減、現地通貨ベース40.6%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は1,640億27百万円となり、前連結会計年度末と比べ46億60百万円の増加となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が44億35百万円増加したこと、有形固定資産が14億27百万円増加したこと、現金及び預金が28億66百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は545億63百万円で、前連結会計年度末と比べ17億22百万円の減少となりました。これは支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）が22億71百万円増加したこと、未払金が14億７百万円減少したこと、借入金が27億72百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は1,094億64百万円で、前連結会計年度末と比べ63億83百万円の増加となりました。これは利益剰余金が47億５百万円増加したこと、為替換算調整勘定が19億99百万円増加したこと、自己株式取得及び処分により９億74百万円減少したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、75億48百万円の収入（前年同期は65億14百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純利益80億75百万円、減価償却費40億10百万円などの計上、仕入債務の増加額21億20百万円などによる収入、売上債権の増加額37億59百万円、法人税等の支払額23億97百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、57億96百万円の支出（前年同期は30億62百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出52億95百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、56億87百万円の支出（前年同期は３億96百万円の収入）となりました。これは、借入金の減少36億27百万円、自己株式の取得による支出10億20百万円、配当金の支払額８億82百万円などによるものであります。

これらの結果、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ35億70百万円減少の179億79百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年５月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2021年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,688	18,821
受取手形及び売掛金	40,973	42,577
電子記録債権	8,686	11,519
商品及び製品	8,537	8,073
仕掛品	3,458	4,757
原材料及び貯蔵品	6,762	6,525
その他	3,837	3,900
貸倒引当金	△210	△281
流動資産合計	93,734	95,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,714	23,647
機械装置及び運搬具（純額）	20,044	18,637
工具器具備品（純額）	1,509	1,627
土地	6,257	6,253
リース資産（純額）	277	314
建設仮勘定	3,113	4,917
その他（純額）	965	910
有形固定資産合計	54,881	56,309
無形固定資産		
のれん	159	138
その他	1,342	1,554
無形固定資産合計	1,501	1,693
投資その他の資産		
投資有価証券	3,829	3,858
退職給付に係る資産	2,811	3,662
繰延税金資産	2,109	1,966
その他	556	687
貸倒引当金	△57	△43
投資その他の資産合計	9,249	10,130
固定資産合計	65,632	68,133
資産合計	159,367	164,027

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2021年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,104	13,627
電子記録債務	11,655	13,403
短期借入金	5,416	3,702
１年内返済予定の長期借入金	1,085	5,018
リース債務	78	97
未払金	4,685	3,277
未払法人税等	991	970
賞与引当金	1,713	1,515
その他	7,744	7,917
流動負債合計	46,474	49,530
固定負債		
長期借入金	5,115	122
リース債務	134	153
繰延税金負債	1,153	1,303
退職給付に係る負債	2,594	2,618
その他	814	834
固定負債合計	9,811	5,033
負債合計	56,286	54,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,584	6,603
利益剰余金	93,372	98,078
自己株式	△7,537	△8,512
株主資本合計	98,410	102,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,318	1,337
為替換算調整勘定	1,815	3,815
退職給付に係る調整累計額	1,535	2,150
その他の包括利益累計額合計	4,670	7,304
純資産合計	103,080	109,464
負債純資産合計	159,367	164,027

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年９月30日）
売上高	82,085	88,339
売上原価	66,119	70,365
売上総利益	15,965	17,973
販売費及び一般管理費	9,208	9,977
営業利益	6,757	7,996
営業外収益		
受取利息	4	14
受取配当金	46	50
還付加算金	52	28
為替差益	－	162
廃棄物リサイクル収入	13	13
その他	18	31
営業外収益合計	135	301
営業外費用		
支払利息	27	31
為替差損	671	－
休止固定資産減価償却費	9	37
その他	21	4
営業外費用合計	730	74
経常利益	6,162	8,223
特別利益		
固定資産売却益	5	12
受取保険金	－	※1 242
特別利益合計	5	254
特別損失		
固定資産除売却損	55	89
投資有価証券売却損	－	0
クレーム解決金	※2 299	－
組織再編費用	※3 105	※3 312
ゴルフ会員権売却損	1	－
特別損失合計	461	402
税金等調整前四半期純利益	5,705	8,075
法人税、住民税及び事業税	1,988	2,322
法人税等調整額	282	165
法人税等合計	2,270	2,487
四半期純利益	3,435	5,587
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,435	5,587

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年９月30日）
四半期純利益	3,435	5,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	18
繰延ヘッジ損益	△0	－
為替換算調整勘定	△766	1,999
退職給付に係る調整額	4	615
その他の包括利益合計	△673	2,633
四半期包括利益	2,761	8,221
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,761	8,221
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2021年４月１日 至　2021年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,705	8,075
減価償却費	3,859	4,010
のれん償却額	21	22
クレーム解決金	299	－
組織再編費用	105	312
受取保険金	－	△242
貸倒引当金の増減額（△は減少）	17	48
賞与引当金の増減額（△は減少）	△286	△207
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	17	△160
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	1	－
固定資産除売却損益（△は益）	50	77
投資有価証券売却損益（△は益）	－	0
受取利息及び受取配当金	△50	△65
支払利息	27	31
為替差損益（△は益）	218	64
売上債権の増減額（△は増加）	△345	△3,759
棚卸資産の増減額（△は増加）	△955	△290
仕入債務の増減額（△は減少）	△524	2,120
未払金の増減額（△は減少）	△516	△547
その他	802	176
小計	8,447	9,668
利息及び配当金の受取額	50	65
利息の支払額	△30	△29
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,953	△2,397
保険金の受取額	－	242
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,514	7,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,066	△5,295
有形固定資産の売却による収入	4	16
無形固定資産の取得による支出	△126	△438
投資有価証券の取得による支出	△66	△17
投資有価証券の売却による収入	－	22
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	2	3
補助金の受取額	200	42
その他	△10	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,062	△5,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,500	△2,558
長期借入れによる収入	5,000	－
長期借入金の返済による支出	△1,059	△1,068
自己株式の取得による支出	－	△1,020
配当金の支払額	△889	△882
その他	△154	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー	396	△5,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	△141	364
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,707	△3,570
現金及び現金同等物の期首残高	11,342	21,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,050	17,979

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年11月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は1,020百万円（412,200株）増加いたしました。当該自己株式の取得等により、当第２四半期連結会計期間末において自己株式は8,512百万円（5,409,964株）となりました。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号　2020年３月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる、従来の収益認識方法からの重要な変更はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第１四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第１四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準の適用による、当第２四半期連結累計期間の期首利益剰余金に与える影響はなく、損益に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-２項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号　2019年７月４日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号　2019年７月４日）第44-２項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用）

当社及び国内子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和２年法律第８号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号　2020年３月31日）第３項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号　2018年２月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

（四半期連結損益計算書関係）

※１　受取保険金

前第２四半期連結累計期間（自　2020年４月１日　至　2020年９月30日）

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年９月30日）

2019年11月に発生した当社の連結子会社 株式会社フジシール（筑波工場）の火災事故に伴う利益補填に係る保険金であります。

※２　クレーム解決金

前第２四半期連結累計期間（自　2020年４月１日　至　2020年９月30日）

当社製品に対する顧客からのクレームに係る解決金であります。

当第２四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年９月30日）

該当事項はありません。

※３　組織再編費用

前第２四半期連結累計期間（自　2020年４月１日　至　2020年９月30日）

Pago AGのタック機械事業をPago Etikettiersysteme GmbHに統合するグループ内組織再編にかかる人員削減費用等であります。

当第２四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年９月30日）

Pago AGのタックラベル事業の譲渡契約締結に伴い発生が見込まれる損失を計上しております。

その内訳は、棚卸資産評価損187百万円、減損損失125百万円（機械装置他）であります。

なお、組織再編費用のうち、減損損失に係るものは、以下のとおりであります。

用途	場所	種類	金額（百万円）
処分予定資産	Pago AG （スイス/グラブス）	機械装置他	125

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当第２四半期連結累計期間において、Pago AGのタックラベル事業の機械装置他が、事業譲渡の契約締結に伴い売却予定となったため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当事業用資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却予定価額により評価しております。

（セグメント情報）

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の４つで報告セグメントを構成しております。

第１四半期連結会計期間より、欧州におけるマネジメント体制を変更し、従来報告セグメントとして開示しておりました「ＰＡＧＯ」を「欧州」に統合しております。なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　2020年４月１日　至　2020年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結財務諸表計上額（注２）
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	46,771	17,216	11,080	7,016	82,085	－	82,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	724	0	1,888	1,390	4,004	△4,004	－
計	47,495	17,216	12,969	8,407	86,089	△4,004	82,085
セグメント利益又は損失（△）	4,696	1,907	△52	491	7,043	△286	6,757

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△286百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

２．報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３．本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結財務諸表計上額（注２）
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,659	20,763	12,869	7,046	88,339	―	88,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	793	1	1,927	1,058	3,782	△3,782	―
計	48,453	20,765	14,797	8,105	92,121	△3,782	88,339
セグメント利益	5,351	2,113	296	291	8,052	△56	7,996

（注）１．セグメント利益の調整額△56百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

２．報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３．本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「欧州」セグメントにおいて、組織再編に伴う売却予定の資産に対する減損損失125百万円（機械装置他）を計上しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

以　上